

I

教 育 行 政

第1節 教育計画

平成27年度富山県教育委員会重点施策 ～富山スタンダードの更なる推進～

富山県教育委員会は、

- 人間の生き方を考える**優れた知性**の育成
- 自然と芸術・文化に親しむ**豊かな心**の育成
- 風雪に耐えて生きぬく**たくましい体**の育成

を富山県教育の基本目標に掲げ、児童生徒が、学校教育を通じ、友人と切磋琢磨するなかで豊かな人間性と個性や能力を伸ばし、将来にわたってたくましく生きる力を身につけること、また、県民誰もが一人ひとりの目的やニーズ、社会の新たな課題に応じた学習や文化・スポーツ活動に親しむことを目指してきました。

平成25年度には、富山県総合計画の政策体系との整合性を図りながら、富山県教育振興基本計画を策定しました。

基本計画の中では、基本理念（計画の目標）を、

富山から世界へ羽ばたき、未来を切り拓く人材の育成

－真の人間力を育む教育の推進－

- ・ **変化する社会に果敢にチャレンジし、生き抜いていく確かな力を育てる**
- ・ **優れた知性、豊かな心、たくましい体を持った「元気とやまっ子」を育てる**
- ・ **富山県の特徴を生かした富山スタンダードを推進し、国内外から評価される教育システムの確立をめざす**

として掲げ、これまでの富山県教育の基本目標を発展・充実させ、「とやまの新しい教育」を創造し、人間的魅力を身につけ、未来に向かってたくましく生きていく「真の人間力」を育む、富山県ならではの教育を「7つの基本施策」に基づき展開していきます。

この「富山県教育委員会重点施策」は、富山県教育振興基本計画の各年度の実施計画となるものであり、実施に当たっては、市町村教育委員会をはじめ、関係機関、諸団体等と協力しながら、学校、家庭、地域の相互の連携のもとに、実効性のある総合的な教育行政の推進に努めていきます。

平成27年4月には、知事と教育委員が教育行政に関して協議、調整する場としての「総合教育会議」が設置され、その場において有識者等の意見もふまえた教育行政の基本方針となる「大綱」を策定することとされるとともに、スポーツ行政の総合的な推進体制を整備するため、学校体育を除くスポーツ行政が知事部局に移管されるなど、本県の教育行政は大きな変化の中にありますが、今後とも、本県の優れた教育を引き継ぎながら、富山ならではの質の高い教育を行っていくための特色ある取り組みや環境整備である「富山スタンダード」をさらに推進し、家庭、学校、地域等が一体となって質の高い教育を創りあげていきます。

<平成27年度 政策体系別重点施策>

I 子どもの可能性を引き出し、才能や個性を伸ばす教育の推進

基本施策の目標：

子どもたちが、知識・技能を身につけるとともに、それを基盤としながら、自らの可能性を発揮して、未来を切り拓いていく力を育む教育が行われていること。

1 確かな学力の育成

基礎的・基本的な知識・技能を身につけ、自ら学び、考え、問題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力、コミュニケーション能力を育む。

また、基礎的な学力を確実に身につけさせるとともに、それらを活用する力や知的好奇心、学習意欲、探究心を高める教育を実施する。

さらに、科学分野への興味や関心を高め、その能力を伸ばす教育を推進する。

(1) 児童生徒の基礎学力の定着と向上

- ・ **とやま型学力向上総合支援事業（小・中学校）** [24,000千円]

全国学力・学習状況調査等の結果分析と、それを学校改善、授業改善に有効に活用するための体制の充実を図る。市町村教育委員会の学力向上の取組みに対して総合的な支援を行うことにより、児童生徒の確かな学力の育成を図る。

- ・ 学力向上推進会議の設置
- ・ 授業の達人活用事業
- ・ 授業力向上推進リーダー育成事業
- ・ 学力向上対策研究拠点校事業
- ・ 学習習慣・生活習慣育成事業
- ・ 学力向上市町村教育委員会プラン研究委託事業

- ・ **学びのアシスト推進事業（小学校）** [1,301千円]

富山大学の教員志望大学生を学習補助者として小学校に派遣し、児童の学習意欲の向上やきめ細かな学習に対応し、学力向上を推進する。

- ・ **基礎的な学力の定着**

県内全ての小学生が共通の問題に取り組む「漢字・計算チャレンジテスト」や、個に応じたきめ細かな指導の充実、朝学習や夏休み中の学習相談の実施等の取組みを行う。
(小中学校課)

- ・ **小学校英語教育モデル事業** [P.4に事業概要]

- ・ **小学校専科教員配置事業** [58,302千円] [P.13にも掲載]

中学校との円滑な接続を図るとともに、理科などの学習内容の高度化に対応するため、小学校3～6年生対象の専科教員を配置する。
(教職員課)

- ・ **魅力ある教育活動支援事業** [9,850千円]
各県立学校の特色を活かした魅力ある教育活動を支援し、教育の改善と充実を図る。
- ・ **外部人材活用促進事業** [3,000千円]
県立学校の教育目標を効果的に推進するため、専門的な知識や指導力を備えた外部講師の活用を促進する。(県立学校課)
- ・ **土曜学習モデル事業** [P.17に事業概要] (教育企画課)
- ・ **子どもの読書活動推進事業** [P.18に事業概要] (生涯学習・文化財室)

(2) 科学に対する関心を高め科学的才能を引き出して伸ばす教育の推進

- ・ **とやま科学オリンピックの開催** [7,350千円] [P.5にも記載]
子どもたちの科学に対する関心を高めるとともに、科学的才能を引き出して伸ばすことを目的に、小・中・高校生を対象に、人文・社会科学分野も含めた幅広い思考力を問うとともに、実験・観察も取り入れた「とやま科学オリンピック」を開催する。
- ・ **とやまの科学教育推進事業** [3,730千円] [P.5にも記載]
本県ならではの科学教育の取組み（探究科学科、とやま科学オリンピック等）について、教育フォーラム、とやま科学オリンピック体験セミナー等を通じて、その成果を広く学校現場等へ普及する。
- ・ **「科学の甲子園」「科学の甲子園ジュニア」代表チーム研修事業** [747千円] [P.5にも記載]
「科学の甲子園」「科学の甲子園ジュニア」の全国大会に出場する本県代表チームの研修を実施する。(教育企画課)
- ・ **とやまっ子理科大好き推進事業** [1,066千円]
小・中学校における理科の観察・実験を支援する「観察実験アシスタント」の適切な配置支援と資質向上に向けて、コーディネーターを配置する。(小中学校課)
- ・ **スーパーサイエンスハイスクール事業（国委託事業）** [897千円]
先進的な理数系教育の実施により、「探究力」「科学的思考力」「自己発信力」を身につけ、将来、国際社会で活躍する科学技術系人材の育成を目指す。(県立学校課)

2 社会で生きる実践的な力の育成

将来の夢や目標を持ち、進路を自ら選択・決定する力、チャレンジする精神、生涯にわたり学び続ける意欲を育む。また、積極的に社会に貢献し、社会に信頼される若者に成長するよう、子どもが職業観や勤労観を身につけるための教育を推進する。

(1) 情報活用能力の育成と教育環境の整備

- ・ **「とやまマルチネット」を活用した教育の情報化の推進** [17,890千円]
 県域高速回線網「とやまマルチネット」により、全県立学校に整備された校内LANやコンピュータ等のICT学習環境を活用して、教科指導において学力の向上を図るとともに、情報化に対応した新しい資質の育成に向けた情報教育を進めるなど、ICTを活用した教育を充実する。 (県立学校課)
- ・ **情報教育に関する研究や研修等の充実** [9,005千円]
 インターネットやICT環境を活かす教員のICT活用指導力の向上に向けた教育研究及び研修を充実する。
 - ・ 小・中・高等学校及び特別支援学校を交えた教育情報データベースの活用
 - ・ インターネットやICTを活用した授業方法に関する教育研究
 - ・ 情報活用の実践力や情報モラル等情報社会に参画する態度を育てる情報教育に関する教育研究とこれらの実践的指導力を育てる研修 等 (教育企画課)

(2) キャリア教育の推進

- ・ **社会に学ぶ「14歳の挑戦」事業（県内全公立中学校80校）** [P.11に事業概要]
 (小中学校課)
- ・ **県立高等学校キャリアプランニング推進事業** [H26.2月補正 4,564千円] [P.11にも記載]
 地元企業等と学校の連携を図るキャリア教育アドバイザーを配置し、就職支援やインターンシップの推進を通して、将来の地域を支える人材の育成を図る。
- ・ **特別支援キャリア教育の充実事業（国委託事業）** [P.15に事業概要]
 (県立学校課)

3 グローバルに活躍する人材の育成

世界で活躍するグローバルな人材に必要な資質として、自ら学び、考え、問題を解決するために必要な思考力・判断力・コミュニケーション能力及び高い英語力を育む。また、ふるさとへの誇りと愛着をもち、国際人として活躍する資質を育成する。

(1) 国際人として活躍する資質を育成する教育の充実

- ・ **小学校英語教育モデル事業** [27,468千円] [P.2、13にも記載]
 国が計画している小学校における英語教育の教科化等に備えて、モデル校に英語の専科教員として正規職員や非常勤講師を配置し、指導方法等を研究する。 (教職員課)
- ・ **スーパーグローバルハイスクール事業（国委託事業）** [15,160千円]
 グローバル人材を育成するため、人文科学・社会科学分野の先進的な教育課程の

開発・実践を行う。高度な英語力と国際感覚を身につけた人材育成のため、国連機関NOWPAPや大学との連携、生徒海外研修等を行う。

- ・ **とやまの高校グローバル人材育成促進事業（一部国委託事業）** [2,713千円]
高度な英語力を持ち、世界で活躍するグローバル人材を育成するため、各校で学習到達目標の設定を促進し、県内高校における英語指導の一層の充実を図る。
(県立学校課)
- ・ **とやま科学オリンピックの開催** [P.3に事業概要]
- ・ **とやまの科学教育推進事業** [P.3に事業概要]
- ・ **「科学の甲子園」「科学の甲子園ジュニア」代表チーム研修事業** [P.3に事業概要]
(教育企画課)

(2) 青少年の国際理解と国際交流の促進

- ・ **高校生の海外派遣事業の実施** [16,542千円]
- ・ **外国語指導助手〔ALT〕の配置** [176,989千円]
- ・ **とやまの高校生留学促進事業** [10,045千円]
高校生等の異文化理解を深め、我が国と海外の国との相互理解と友好親善に寄与する人材育成のため、県内高校生等に留学支援金を給付し、海外留学の促進を図る。
(県立学校課)

4 教員の資質向上

今後の教員の大量退職を見据え、適性のある優れた教員の確保に努めるとともに、教員が子どもと向き合いやすい環境整備の推進と、優れた教育理念や指導技術の継承、教員研修の充実等により教育への情熱や使命感をもつ勤勉で質の高い教員の育成を図る。

(1) 教員が子どもと向き合いやすい環境整備の推進

[人材の採用、登用等]

- ・ **教職員定数を増加し、少人数教育や特別支援教育の充実等に取り組む。**
- ・ **教職員人材確保事業** [1,520千円]
意欲ある優秀な教員の確保を図るための周知・広報活動を実施する。
- ・ **採用前研修事業** [500千円]
富山大学と連携し、教員採用内定者を対象とした採用前研修を実施する。
- ・ **教員評価制度の実施**
県内の小・中・高等学校及び特別支援学校で、引き続き教員評価制度を実施する。

- ・ **司書教諭の配置・養成** [308千円]
すべての12学級以上の小・中・高等学校及び特別支援学校に司書教諭を配置するとともに、現職教員の司書教諭資格の取得に努める。(教職員課)

[子どもと向き合いやすい環境の整備]

- ・ **学校多忙化解消推進会議の開催** [359千円] [P. 20にも記載]
多忙化を解消し、教員が子どもと向き合いやすい環境を整え、教職員の職務能率の向上と健康増進を図り、もって、組織としての教育力を高めるために、「とやま学校多忙化解消の推進方針2015」に基づき、「学校多忙化解消推進会議」において、学校における事務改善策等の検討及び点検を行う。(教職員課)

[疾病の未然防止・早期対策等]

- ・ **結核健診及び生活習慣病予防健診の実施**
- ・ **生活習慣病予防健診結果に基づく保健指導の実施**
- ・ **長時間勤務教職員に対する医師による面接指導と臨時健診の実施** [計32,671千円]
- ・ **人間ドック、女性検診、ストレスドックの実施**
- ・ **リラククス体験の実施**
- ・ **教職員・心の健康管理医によるカウンセリングの実施 等** [計36,283千円]
- ・ **「水曜リフレッシュ運動」の推進** (保健体育課)

(2) 教員研修の充実

- ・ **キャリアステージ等に応じた研修の充実** [5,965千円]
若手教員研修（初任者研修、2年次研修、3年次研修）、6年次教職員研修等の年次研修において、「具体的な事例や体験を通して学ぶ研修」や「教職員としての自覚や使命感・倫理観を高める研修」を実施するなど、学校内における職務や経験等に配慮した研修や、新学習指導要領、情報教育、学校組織マネジメント等、今日的な課題に対応した研修の充実に努める。(小中学校課)
- ・ **現職教員の富山大学大学院、上越教育大学大学院への派遣** [10,829千円]
(教職員課)
- ・ **大学、研究機関、企業等への内地留学や海外研修の実施** [2,194千円]
(県立学校課、小中学校課)
- ・ **大学院修学休業制度や認定講習制度を活用した、教員の専修免許状等の取得の促進や資質向上** [1,221千円]
- ・ **自己啓発等休業制度を活用した、多様な教育課題に対応できる教員の育成**
(教職員課)

- ・ **教師力向上支援事業** [4,000千円]
 今日的な教育課題に対応していく資質を涵養するため、教員を国内外の教育事情視察などに派遣する。
- ・ **教師の学び支援塾事業** [3,000千円]
 教育実践に優れた授業力向上アドバイザーや退職教員等を活用し、熟達教員の持つ優れた教科指導、生徒指導、進路指導、部活動の指導など、学校教育における指導上のノウハウについて、研修等を通じて若手教員に伝承する。
- ・ **高等学校授業力向上支援事業** [5,000千円]
 教員向けの指導力向上講座や教科指導法の意見交換、県外セミナーや先進校への教員派遣を通して、教員の教科指導力を高め、資質の向上を図る。 (県立学校課)
- ・ **小中学校授業力向上対策事業** [1,200千円]
 小・中学校教員の授業力向上のための研究活動を支援する。 (小中学校課)
- ・ **指導力向上特別研修事業** [2,656千円]
 指導が不適切と判定された教員に対して、指導力回復のための研修を実施し、学校現場への復帰を支援する。 (教育企画課)
- ・ **生徒指導や教育相談に関わる教員の資質向上**
 生徒指導セミナーや学校カウンセリング講座等の研修機会の充実を図る。
 (県立学校課、小中学校課)
- ・ **進路指導に関わる教員の資質向上** [70千円]
 進路指導講演会、事例発表や校種ごとに分かれての研究協議を実施する
- ・ **特別支援学校障害種別研修** [587千円]
 特別支援学校に在籍する子どもの障害の重度・重複化に対応するため教員の資質向上を図る。
- ・ **資源エネルギー教育推進事業の実施** [6,000千円]
 資源エネルギー教育を推進するため、学習教材の作成や指導方法の工夫改善等について各学校を支援する。 (県立学校課)
- ・ **幼稚園教員の資質向上**
 基本的な生活習慣や態度を育て、豊かな感性や表現力を養う幼児教育の研修を充実する。 (小中学校課)
- ・ **外国人児童生徒に対する日本語指導や生活適応指導等の充実** [8,884千円]
 「外国人児童生徒教育の手引」等の作成、市町村外国人児童生徒就学担当者研修会の開催、外国人児童生徒の多い学校への外国人相談員の配置などを行う。
 (教職員課、小中学校課)

- **集団登山引率者講習会の開催** [775千円]
安全な登山の実施のため、教員を対象とした講習会を開催する。 (保健体育課)

- **富山大学との教員相互の連携協力**
富山大学教員が県総合教育センターの客員教授等として、教員研修及び調査研究等に連携協力し、教員の資質向上と教育研究の一層の充実を図る。
一方、県教育委員会は、富山大学に教員を派遣し、教員志望の学生対象の教材研究等に関する講義に協力し、教員養成の充実を図る。
(教育企画課、県立学校課、小中学校課)

- **「とやま学」推進事業**
富山大学人間発達科学部の学生を対象とした必修専門科目 (科目名 地域教材研究「とやま学」) を開設する。 (小中学校課)

Ⅱ 子どもの健やかな成長を支え元気を創造する教育の推進

基本施策の目標：

子どもたちが、豊かな心を身につけ、たくましく生きるための健やかな体を育む教育や、特別な支援が必要な子どもが、自立し、社会参加するための力を育む教育が行われていること。

1 豊かな心と健やかな体の育成

規範意識や公共心を身につけ、命を尊び、他者を思いやり支えあう心、感動する心を持った豊かな人間性ととともに、心身の健康を保つ実践力とたくましく生きるための体力を育む。

また、子どもたちが心身ともに健やかに成長できるよう、問題行動の解消と未然防止に成果を上げているスクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー等の活用により、教育相談体制の一層の充実を図る。

さらに、学校と家庭、地域が一体となって子どもたちの運動の習慣化や体力向上に取り組むとともに、食を大切にすることを育む食育及び健康教育を推進する。

(1) いじめ・不登校問題への総合的な対策の実施

- ・ **小学校へのスクールカウンセラーの配置** [13,377千円]
小学校（20校）にスクールカウンセラーを配置し、教員、児童、保護者等からの相談に対応する。
- ・ **中学校へのスクールカウンセラーの配置** [70,734千円]
県内全公立中学校（80校）にスクールカウンセラーを配置する。そのうち31校には「カウンセリング指導員」も配置する。
- ・ **高校へのスクールカウンセラーの配置** [13,351千円]
県立高校（拠点8校）にスクールカウンセラーを配置し、拠点校でのカウンセリング、その他の高校への巡回支援等を行う。
- ・ **教育事務所管理カウンセラーの配置** [15,613千円]
教育事務所に臨床心理士等の専門家を配置し、スクールカウンセラー未配置校など、緊急に支援が必要な学校への一定期間の派遣や困難事例の支援を行う。
- ・ **いじめ対策カウンセラーの派遣** [6,239千円]
解決困難ないじめ等の事案発生時に、加害者や周りの児童生徒との面談を通して心のケアを行う。
- ・ **スクールソーシャルワーカーの派遣** [14,103千円]
教育と福祉の両面に関して専門的な知識・技術を有する社会福祉士等の専門家を市町村に派遣し、問題を抱える児童生徒の家庭環境等の改善を支援する。小中学校

への派遣時間を拡充(4,900時間→6,020時間)するとともに、新たに高等学校にも2名派遣する。

- ・ **いじめ対策ソーシャルワーカーの派遣** [3,688千円]
家庭環境等に起因するいじめ等の事案発生時に、いじめの加害者や保護者等に働きかけ、家庭環境の改善を図る。
- ・ **いじめ防止対策推進事業** [1,935千円]
関係機関・団体からなる「いじめ問題対策連絡会議」及び県教育委員会附属機関「いじめ防止対策推進委員会」を活用し、「富山県いじめ防止基本方針」に基づいて、いじめ防止対策を推進する。
- ・ **ネットパトロール事業** [2,261千円]
ネットいじめ等の早期発見・早期対応を図るため、年間を通してインターネット上を検索し、児童生徒による不適切な書き込みがあれば学校へ情報を提供する。
- ・ **24時間相談電話(いじめ等)の設置** [6,948千円]
児童生徒や保護者の電話相談に常時対応するため、総合教育センターに24時間対応の「いじめ相談電話」を設置する。
- ・ **いのちの教育総合支援事業(国委託事業)** [P.16に事業概要] (小中学校課)

(2) いじめ・不登校等に関する指導・相談体制の充実

- ・ **生徒育成サポート事業** [447千円]
学校リスクマネジメントに係る弁護士を派遣し、また、困難事例を協議するため「児童生徒育成支援会議」を開催する。
- ・ **問題を抱える子ども等の自立支援事業(国委託事業)** [2,500千円]
不登校やひきこもり等児童生徒の問題行動に対応するため、訪問指導員を県総合教育センターに配置し、市町村の適応指導教室や自立支援教室等を支援する。
- ・ **子どもと親の相談員の配置** [4,666千円]
県内16小学校に、児童や親が気軽に相談できる「子どもと親の相談員」を配置する。(小中学校課)
- ・ **生活指導主事の配置**
各教育事務所にいじめや不登校等の問題に専門的に対応する生活指導主事を配置する。(教育企画課、教職員課)
- ・ **心のサポーター派遣事業(小・中学校)** [387千円]
富山大学と連携し、教員志望及び心理学部の大学生や大学院生を、児童生徒の話し相手や悩みなどの相談相手をする「心のサポーター」として小・中学校に派遣する。(小中学校課)

- ・ **子どもほっとライン事業** [P. 17に事業概要] (生涯学習・文化財室)
- ・ **児童生徒の自己指導能力の育成**
児童生徒がやり遂げた喜びや学ぶ喜びを味わえる学習活動の展開、役割分担を明確にしながらか組織的・計画的に対応できる生徒指導の推進等により、社会の変化に主体的に対応できる自己指導能力を育成する。(県立学校課、小中学校課)
- ・ **人権教育研究推進事業(国委託事業)** [P. 16に事業概要] (小中学校課)
- ・ **人権教育総合推進事業** [P. 16に事業概要] (生涯学習・文化財室)

(3) 道徳性や社会性を育む教育の充実と社会体験活動の推進

[道徳性や社会性の育成]

- ・ **社会性や自立心、規範意識、思いやりの心などの育み**
学校の教育活動全体を通して、児童生徒に社会性や自立心、規範意識、思いやりの心などの豊かな人間性を育み、自由と規律がバランスよく身につくよう努める。(県立学校課、小中学校課)
- ・ **道徳教育総合支援事業(国委託事業)** [665千円] [P. 16にも記載]
道徳教育推進講演会の開催、道徳教育用教材の配布等を通して、道徳教育の一層の推進を図る。(小中学校課)

[社会体験活動の推進]

- ・ **社会に学ぶ「14歳の挑戦」事業(県内全公立中学校80校)** [17,332千円] [P. 4にも記載]
中学校2年生が、地域での連続5日間の職場体験活動や福祉・ボランティア活動等に取り組むことにより、規範意識や社会性を高め、将来の自分の生き方を考えるなど、たくましく生きる力を身につけることを目指す。(小中学校課)
- ・ **県立高等学校キャリアプランニング推進事業** [P. 4に事業概要] (県立学校課)
- ・ **児童生徒が主体的に進める活動への支援**
福祉・ボランティア活動やインターンシップ、児童生徒自身の問題を解決するための生徒会活動、学級活動等に対し、家庭や地域の教育力も活用しながら支援する。(県立学校課、小中学校課)

(4) 芸術・文化に親しむ心の育成や文化活動等の促進

- ・ **学校巡回劇場開催への支援(小・中学校)** [756千円]
小・中学生の芸術鑑賞能力の向上と豊かな情操を育む。
- ・ **中学校文化連盟への支援** [1,800千円]
富山県中学校文化祭開催に係る同連盟の活動を支援する。

- ・ **高等学校文化連盟等への支援** [9, 590千円]
富山県高等学校文化祭開催等に係る同連盟の活動を支援する。
- ・ **プロの演奏家による学校吹奏楽技術指導の実施** [740千円]
- ・ **全国大会出場に対する支援** [1, 700千円] (生涯学習・文化財室)
- ・ **芸術・文化・科学等の様々な分野で優れた成果を収めた児童生徒の顕彰** [800千円]
(教育企画課)

(5) 運動習慣の定着と体力向上の推進

- ・ **元気とやまスポーツライフサポート事業（学校教育）** [P. 26に事業概要]
- ・ **新スポーツエキスパート活用推進事業** [P. 27に事業概要]
- ・ **楽しい体育実践研究事業** [P. 27に事業概要]
- ・ **体力づくりノート作成・配布（みんなでチャレンジ3015）事業** [P. 26に事業概要]
(保健体育課)

(6) 望ましい食習慣の定着と健康教育の推進

- ・ **児童生徒の望ましい食生活の普及事業** [3, 300千円]
学校給食をモデルとした「献立パンフレット」の作成・配布や親子料理教室を実施する。
- ・ **「朝から元気とやまっ子」食育・健康教育推進事業（学校保健関係）** [1, 693千円]
[P. 18、26にも記載]
 - ・ 早寝早起きや、朝ご飯をしっかりと食べるなどの望ましい生活習慣を身につけさせ、心身の健康の保持・増進を図る。
 - ・ 健康づくりノート（とやまゲンキッズ作戦）を活用した保健指導や専門医と連携した健康管理の充実を図る。
- ・ **食育実践校モデル事業(国委託事業)** [8, 000千円]
食育実践モデル校を指定し、栄養教諭を中心に関係機関の連携により、児童生徒の食育を通じた学力向上、健康増進などの効果について科学的データに基づき検証を行い、食育の一層の充実を図る。
- ・ **学校給食の衛生管理の状況調査・改善指導**
- ・ **栄養管理等の研修会の開催** (保健体育課)
- ・ **栄養教諭の配置** (教職員課)

- ・ **学校での健康教育等の推進と家庭における健康づくりの支援**
 児童生徒の健康診断結果等を分析し生活習慣病等の予防対策を実施する。
 また、健康な生活習慣づくり、歯科保健、近視予防、性感染症予防、喫煙・飲酒・薬物乱用防止等について、実践活動の研究や啓発普及を行う。
- ・ **学校でのがん教育支援事業(国委託事業)** [600千円]
 教材の作成・配布、医師等の講師派遣など、がんに関する教育を推進する。
- ・ **平成27年度全国養護教諭研究大会の開催** [1,300千円]
 富山市において開催(8月6日～8月7日) (保健体育課)

2 少人数教育と校種間連携の推進

少人数指導と少人数学級のよさを考慮し、学校現場の実態に応じたきめ細かな少人数教育を着実に実施するとともに、小学校専科教員、小学校・学びサポート講師、中学校・学びサポート講師や中1学級支援講師等を活用し、理科や音楽等における専科指導、個に応じた学習指導や生活指導など、本県独自の効果的な教育を一層推進する。

また、小学校入学時の保護者の不安解消や指導者の理解を深める資料の作成、合同研修会等を実施することを通して、幼稚園・保育園・小学校の円滑な連携・接続を推進する。

(1) 少人数教育の推進

- ・ **小学校1・2年生での35人以下学級の実施**
 小学校低学年において、子どもたちが基本的な生活習慣や基礎的な学習態度を身につけられる、きめ細かな指導を行える環境を整備する。
- ・ **小学校3～6年生での少人数指導**
 小学校3～6年生で35人を超える学級に正規教員や非常勤講師を配置し、少人数指導を実施する。
- ・ **小学校英語教育モデル事業** [P.2に事業概要]
- ・ **小学校専科教員配置事業** [P.2に事業概要]
- ・ **小学校・学びサポート講師配置事業** [27,647千円]
 小中規模校において、きめ細かな指導により、基礎学力や望ましい学習態度の一層の定着を図るため、非常勤講師を配置する。
- ・ **中学校・学びサポート講師配置事業** [9,216千円]
 小中規模校において、きめ細かな指導により、基礎学力の定着や学力の向上を図るため、非常勤講師を配置する。
- ・ **中1学級支援事業** [9,661千円]
 いじめ、不登校が急増する中学1年生の学校生活への適応支援を行うため、中1学級支援講師を配置する。

- ・ **中1・35人学級選択制導入事業** [31,986千円]

中学校1年生において、学校の実情により少人数（35人以下）学級又は少人数指導を弾力的に選択できる中1・35人学級選択制を引き続き実施するほか、対象校の授業時数増に対応するため、正規職員や非常勤講師を配置する。（教職員課）

(2) 校種間連携の推進

- ・ **小学1年生 安心子育て支援事業** [693千円]

小学校入学前後の子どもを持つ保護者を支援するため、保護者支援リーフレットを配布する。（小中学校課）

- ・ **学びの体験オープンハイスクール事業** [533千円] [P.20にも記載]

中学3年生が、各高等学校の教育内容の理解を深め、明確な目的意識を持って進学できるようにするための体験入学期間を設けるとともに、地域への授業公開を進めることで中高の円滑な接続、地域に信頼される学校づくりを推進する。

- ・ **高大連携未来を拓く人材育成事業** [1,500千円] [P.20にも記載]

県内大学等と県立高校が連携し、大学教員による専門性の高い特別授業や、探究科学科設置校等による合同発表会を開催する。（県立学校課）

3 特別支援教育の充実

特別な教育的ニーズのある児童生徒に対して、通常の学級や通級による指導、特別支援学級、特別支援学校といった、連続性のある「多様な学びの場」を提供する。

(1) 共生・共育の推進

- ・ **特別支援学校ふれあい交流活動事業** [248千円]

障害のある子どもと、障害のない子どもや地域の人々との交流及び共同学習を支援し障害のある子どもの経験を広げ社会性を豊かにする。（県立学校課）

(2) 一人ひとりのニーズに応じた教育の推進と支援体制の整備・充実

- ・ **特別支援教育推進プロジェクト事業（一部国委託事業）** [14,856千円]

関係機関や学識経験者による特別支援教育に関する協議の場である特別支援教育推進協議会を新たに設置する。

11年次教職員研修において小・中学校の全教員が特別支援学校での体験研修を行うなど、特別支援教育における教員の指導力向上を目指した研修を拡充する。

高等学校において、障害のある子どもへの合理的な配慮の調査・研究を行うインクルーシブ教育システム構築モデルスクール事業を継続するとともに、発達障害等の専門的な指導助言を行う高等学校巡回指導員を新たに配置する（2名）。

- ・ **富山県特別支援教育総合推進事業** [1, 576千円]
 幼・小・中・高・特別支援学校に在籍する障害により特別な支援を必要とするすべての子どもに対し、一人ひとりの教育的ニーズに応じた適切な指導や支援を行う。

 - ・ 専門家チームの設置や巡回相談員の派遣
 - ・ スタディ・メイト（特別支援教育支援員）の養成と研修
 - ・ 富山大学の教員志望大学生を活用した、スタディ・メイトジュニア（学生支援員）の小学校への派遣 等
- ・ **早期教育相談支援事業（国委託事業）** [4, 878千円]
 障害のある子どもに対する早期からの教育相談及び支援体制の構築を推進するため、教育と保育、福祉、保健、医療等の連携推進、情報提供等の取組みを支援する。
- ・ **富山型デイサービス・特別支援学校連携事業** [256千円]
 特別支援学校と、特別支援学校在籍児童生徒が利用している富山型デイサービス及び関係部局が連携を深めることにより、特別支援学校在籍児童生徒の共通理解を図る。
- ・ **特別支援学校医療的ケア体制整備事業** [19, 590千円]
 日常的に医療的ケアを必要とする児童生徒が在籍する特別支援学校へ看護師を配置し、児童生徒が健康で安全に学校教育を受けることができる環境を整備する。
- ・ **外部専門家を活用した特別支援学校のセンター的機能充実事業（国委託事業）** [2, 990千円]
 外部専門家を活用した実践的研修の実施等により、特別支援学校のセンター的機能を強化充実する。
- ・ **学齢超過者への訪問教育実施事業** [438千円]
 障害のため義務教育を猶予・免除された者のうち、希望者に訪問による教育機会を提供する。
- ・ **特別支援学校通学運営** [201, 695千円]
 特別支援学校に通学する児童生徒の安全確保や遠距離通学に伴う負担軽減、保護者の送迎に対する負担軽減を図るため、通学バスを運行する。
- ・ **特別支援キャリア教育の充実事業（国委託事業）** [7, 864千円] [P. 4にも記載]
 特別支援学校高等部に在籍する生徒及び高等学校に在籍する発達障害を含む障害のある生徒の将来の自立と社会参加に向けた適切な指導を行うため、生徒のカウンセリング・教員のコンサルテーション、就労先開拓・職場定着への支援、特別支援学校・高等学校・企業の連携などの充実を図る。 (県立学校課)

(3) 特別支援学校の整備推進

- ・ **特別支援学校の改築、修繕等** [359,012千円]

特別支援学校（富山総合支援）の改築、校舎等の修繕、教育設備の整備などを進める。（教育企画課）

4 人権や思いやりの心を大切にす教育の推進

児童生徒一人ひとりが、人間としてかけがえのない存在であることを自覚し、いじめや偏見・差別をなくし、互いに尊重し合い、好ましい人間関係を築いていこうとする心と態度を育成する。

(1) 人権教育に関する研修内容の充実や指導者の育成

- ・ **人権教育研究推進事業(国委託事業)** [200千円] [P. 11にも記載]

学校における人権教育に関する指導方法の改善・充実のため、モデル校を指定し、実践的な研究を行う。（小中学校課）

- ・ **人権教育総合推進事業** [1,890千円] [P. 11にも記載]

人権教育に関する研修会を開催するとともに、啓発資料を作成・配布し、人権尊重についての認識をさらに深めるよう努める。（生涯学習・文化財室）

(2) 命を大切にす心や思いやりの心を育てる学習機会の充実

- ・ **いのちの教育総合支援事業(国委託事業)** [1,487千円] [P. 10にも記載]

いのちの先生の派遣、いのちの教育講演会の開催及びいのちのメッセージカードの活用等を通して、学校と家庭が一体となった、いのちの教育の推進を支援する。

- ・ **道徳教育総合支援事業(国委託事業)** [P. 11に事業概要] （小中学校課）

- ・ **とやまの高校生ライフプラン教育充実事業** [H26.2月補正 2,986千円]

富山で働き子育てする良さを知らせるため、ライフプラン教育に関する小冊子を作成し、高校生の赤ちゃんふれあい体験等を実施することにより、ライフプラン教育の普及・充実を図る。（県立学校課）

Ⅲ 学校、家庭、地域で取り組む子どもの成長支援

基本施策の目標：

子どもたちが、虐待・いじめなどの人権侵害を受けることなく、健やかに成長しているとともに、学校、家庭、地域の連携・協力のもと、安全・安心な教育環境の中で、基本的な生活習慣や社会性を身につけ、豊かな人間性を育てていること。

1 子どもの健全な育成と地域の教育力の充実

子どもや若者が健全で心豊かに育つよう、地域の環境整備に努めるとともに、地域活動を通じて社会性を身につけ豊かな心を育む地域の教育力の充実に努める。

(1) 子どもの意見発表の機会づくり、青少年健全育成運動の推進

- ・ **子どもとやま県議会事業** [1,011千円]

子どもたちの代表40人が県議会議事堂にて、身近で学んだことや体験したことを題材に、将来の富山県や日本、世界について、感性あふれる意見や夢のある提言を発表する。

- ・ **富山県青年議会事業** [500千円]

各市町村や青年団体等から推薦された青年議員40人が、よりよい県政の方向性等について若者の視点で学習してきた成果を生かし、県議会議事堂において、県当局に質問や提案をする。

- ・ **子どもほっとライン事業** [1,354千円] [P. 11にも記載]

電話や電子メール等により子どもたちの悩みや質問に応える相談活動を行う。

- ・ **青少年自然の家の運営** [67,509千円]

自然環境の中での集団生活を通じて、心身ともに健全な青少年の育成を図るため、呉羽青少年自然の家及び砺波青少年自然の家を運営する。

- ・ **立山荘の運営** [8,486千円]

県内小学校等による集団立山登山や観光客の宿泊・休憩施設として立山荘を運営する。
(生涯学習・文化財室)

(2) 学習・遊び・体験活動や地域住民との交流活動の推進

- ・ **土曜学習モデル事業** [17,360千円] [P. 3にも記載]

土曜日を活用して授業や幅広い学習活動を行うモデル事業を実施し、効果や課題を引き続き検証し、土曜授業及び土曜学習のあり方を研究する。(教育企画課)

- ・ **放課後子ども教室推進事業** [27,203千円]

放課後や週末等に学校の余裕教室等を活用し、地域の方々の参画を得て、子どもたちに学習や様々な体験・交流活動の機会を定期的・継続的に提供する。

- ・ **高校生「ボランティアパスポート」活用事業** [1, 200千円]
「ボランティアパスポート」の活用を通して、高校生の社会参画意識を醸成する。
- ・ **公民館親子で高志の国探検事業** [2, 500千円] [P. 22、24にも記載]
幼児から中学生を対象に、公民館による子どもたちの身近なふるさと学習や自然体験を推進する。
(生涯学習・文化財室)

2 家庭の教育力の向上

学校、家庭、地域、企業等が連携し、家庭の教育力の向上を図るとともに、子どもの望ましい生活習慣の定着に向けた取組みを推進する。

- ・ **とやま親学び推進事業** [1, 800千円]
 - ・ **とやま親学び推進協議会設置事業**
とやま親学び推進協議会を設置し、とやま親学び推進リーダーを配置・養成することにより、親学びを推進する。
 - ・ **親学び企業内啓発講座**
経済団体等と連携して、企業において家庭教育講座を開催する。
- ・ **家庭教育総合相談事業** [5, 405千円]
子育て情報ホームページ「子育てネッ！とやま」による情報提供や、電話相談やカウンセリング、電子メール等を活用した家庭教育に関する総合的な相談体制を整備する。
- ・ **家庭教育かわら版事業** [3, 600千円]
しつけや望ましい生活習慣、親子のふれあいなどの家庭教育に関する情報紙「ほっとタイムス」を年2回発行し、幼稚園・保育園児から小学校2年生までの保護者等に配布する。
- ・ **家庭教育支援ネットワーク推進事業** [2, 250千円]
HPの刷新（スマホ対応、動画等）、学習支援ツールの開発等により、地域社会全体で家庭教育を支援するネットワーク体制を推進
- ・ **子どもの読書活動推進事業** [2, 210千円] [P. 3にも記載]
家庭・地域・学校における子どもの自主的な読書活動を推進するため、「子どもと本の講座」を開催するとともに、とやま元気ワールド・絵本ランドの開催を支援する。
(生涯学習・文化財室)
- ・ **「朝から元気とやまっ子」食育・健康教育推進事業** [P. 12に事業概要]
(保健体育課)

3 児童等の安全の確保

市町村、学校、家庭、地域、関係団体等と連携して、子どもの見守り活動や安全教育、不審者情報等の共有化などを推進することにより、児童生徒等の安全を確保する。

また、学校の耐震化を進め、引き続き、その耐震性の確保に努めるとともに、防災教育の推進やその普及啓発を図る。

(1) 学校における安全対策及び防災教育の推進

- ・ **子どもの登下校安全対策事業** [1,794千円]
登下校時等の子どもの安全を確保するため、スクールガード・リーダーを配置するとともに、子どもの見守り活動に対して支援する。
- ・ **防災教育を中心とした実践的安全教育総合支援事業（国委託事業）** [6,000千円]
緊急地震速報等を活用した防災教育事業と通学路の交通安全対策事業を統合し、防犯を含めた学校安全に積極的に取り組む学校を支援する。
- ・ **防犯教育、防災教育指導者講習会の開催**
学校の実践的な安全教育、防災教育の充実を図るため、教職員等を対象として実施する。（保健体育課）

(2) 学校施設の耐震化等の推進

- ・ **高等学校建設事業** [P. 21に事業概要]
- ・ **高等学校校舎等耐震補強事業** [680,987千円] [P. 21にも記載]
泊高校（管理特別教室棟）などの耐震補強工事等
- ・ **県立学校体育館等の天井落下防止対策事業** [403,266千円] [P. 21にも記載]
（教育企画課）

IV 社会の変化と多様なニーズに対応した高校等の教育環境の充実

基本施策の目標：

様々なニーズに対応した教育環境の整備が進められ、子どもたちが未来に希望を持って、魅力ある教育を受けられていること。

1 県立学校の教育環境の整備・充実

教育熱心な県民性、優れた教育実践、豊かな自然や文化に恵まれた教育環境などの特性を活かした富山の伝統ある教育力の継承とその発展・創造を図る。

また、社会の変化や生徒・保護者のニーズ等に対応した高校教育の一層の充実を図るとともに、学校運営の改善や教育施設環境の整備等を推進する。

(1) 県立学校教育振興計画の推進

- ・ **県立学校教育振興計画の推進** [600千円]
「県立学校教育振興計画 基本計画」に基づき、生徒の学習環境の整備等を着実に推進するために必要な施策を実施する。
- ・ **県立学校整備のあり方等に関する検討** [1,000千円]
将来展望に立った高校教育の課題、中学校卒業生数の動向、生徒・保護者のニーズ等を考慮した魅力ある県立高校整備のあり方等について引き続き検討する。
- ・ **高大連携未来を拓く人材育成事業** [P. 14に事業概要] (県立学校課)

(2) 学校運営の改善

- ・ **とやま型学校評価システムの推進**
小・中学校の教育活動についての的確に評価を行い、その結果を公表する「とやま型学校評価システム」を全公立小・中学校において実施する。併せて、学校評議員制度の導入促進を図る。(小中学校課)
- ・ **学校評価の推進**
学校の教育活動について、的確に評価を行い、その結果を公表する学校評価を全県立学校で実施するとともに、その充実を図る。
- ・ **学校評議員事業** [581千円]
学校評議員制度を全県立学校で実施する。
- ・ **学びの体験オープンハイスクール事業** [P. 14に事業概要] (県立学校課)
- ・ **学校多忙化解消推進会議の開催** [P. 6に事業概要] (教職員課)

(3) 県立学校の整備推進

- **高等学校建設事業** [1, 820, 627 千円] [P. 19 にも記載]
魚津工業高校（情報環境科棟）、高岡工芸高校（機械科棟）の改築等
- **高等学校校舎等耐震補強事業** [P. 19に事業概要]
- **県立学校体育館等の天井落下防止対策事業** [P. 19にも記載]
- **学校修繕費（全日制・定時制）** [482, 006千円]
校舎等の修繕、防災対策等
- **科学技術教育設備充実費** [220, 608千円]
校内LAN整備、産業教育設備整備等 (教育企画課)

(4) 高校生の修学支援

- **高等学校等就学支援金等** [1, 370, 896千円]
高等学校等に在籍する生徒に対して、高等学校等就学支援金を支給することにより、教育費（授業料）負担の軽減を図る。（平成 26 年度入学生から）
また、高校等を中途退学した者が再び高校で学び直す場合に、「学び直しの支援」として、就学支援金支給期間経過後も卒業までの間（最長 2 年）継続して授業料の支援を行う。
- **公立高等学校奨学のための給付金事業** [92, 850千円]
授業料以外の教育費負担を軽減するため、公立及び国立の高校等の低所得世帯の生徒に対して「奨学のための給付金」を支給する。（平成 26 年度入学生から）
- **奨学資金事業の実施** [73, 796千円]
経済的理由で修学が困難な高校生等に対し奨学資金の貸与を行う。（県立学校課）

V ふるさとを学び楽しむ環境づくり

基本施策の目標：

子どもや県民一人ひとりが、ふるさとの自然、歴史・文化、産業等について学び、理解を深めることにより、ふるさとへの誇りと愛着を育んでいること。

1 学校におけるふるさと学習の推進

子どもたちの郷土の自然、歴史や文化、産業、先人の英知や偉業、郷土の食文化等への理解を深め、ふるさとを思う心と、広い視野に立って社会に貢献していこうとする態度を育む取組みを推進する。

- ・ **「ふるさととやまの人物ものがたり」を活用したふるさと教育の推進**

郷土の先人54人を紹介した小学校高学年向けの読み物資料「ふるさととやまの人物ものがたり」を社会科のほか、道徳の時間、総合的な学習の時間や朝読書等において活用し、ふるさと教育の推進を図る。

- ・ **郷土に対する理解や愛着心の育み**

社会科や道徳の時間における郷土の偉人や歴史、産業に関する学習活動、総合的な学習の時間や特別活動における伝統文化の伝承活動等を促進する。(小中学校課)

- ・ **高校生郷土史・日本史学習教材活用事業** [4,059千円]

全ての県立高校において、補助教材を用いた郷土史・日本史学習を行うとともに、補助教材の効果的活用に関する研修を実施する。(県立学校課)

- ・ **「ふるさとの優れた先人に学ぶ」作文コンクールの実施** [944千円]

(教育企画課)

- ・ **「高志の国文学」情景作品コンクールの実施(中・高等学校)** [1,242千円]

(生涯学習・文化財室)

2 家庭、地域、企業等におけるふるさと学習の振興

家庭、地域、企業等が一体となって、県民ぐるみで、ふるさとの自然や歴史、暮らし、産業等を学び、親しむ機会を充実するとともに、県民が連帯感を持ち、ふるさと富山に誇りと愛着を育む取組みを推進する。

- ・ **公民館親子で高志の国探検事業** [P.18に事業概要]

- ・ **ふるさと文学啓発事業** [868千円] [P.24にも記載]

高志の国文学館等と連携し、ふるさと文学について学びを深めることができる講座、ボランティア育成講座、ふるさと文学等に関する上映会を開催する。

(生涯学習・文化財室)

3 伝統文化の保存・継承

富山らしい魅力ある地域資源を発掘し、さらにその価値を高め、新しい魅力の創造につながるなど、ふるさとへの誇りと愛着を抱きながら魅力ある地域づくりを進めようとする、地域や県民主体の取組みを促進する。

(1) 伝統文化の魅力の発信

- ・ **世界文化遺産登録推進事業** [12, 152千円]
ユネスコ無形文化遺産登録に向けた普及啓発事業及び資産の保存修理事業に対して支援する。
- ・ **「発掘された日本列島」展開催事業** [9, 000千円]
近年の発掘調査の成果を紹介する全国規模の展示会を文化庁と共催
(8月1日～9月6日)
- ・ **立山・黒部山岳遺跡調査事業** [2, 600千円]
立山・黒部地域の歴史的遺構・遺跡の詳細把握調査を実施する。
- ・ **五箇山の合掌造り集落世界遺産20周年記念事業** [2, 000千円]
世界遺産登録20周年を記念し、記念講演会やシンポジウム等の開催を支援
- ・ **「富山県デジタル文化財ミュージアム」の運営**
ホームページで県内の優れた文化財の魅力を発信する。(生涯学習・文化財室)

(2) 国・県指定文化財の保存修理等の推進

- ・ **国・県指定文化財の保存修理事業への支援** [76, 600千円]
金屋町の保存修理、五箇山の合掌造り建物の屋根葺き替えなど
- ・ **国指定重要文化財勝興寺の本坊等の保存修理（大広間など）事業への支援**
[21, 000千円]
- ・ **城端別院「善徳寺本堂」緊急震災対策事業への支援** [25, 280千円]
建立から250年を経て老朽化が著しい県指定文化財「善徳寺本堂」について、緊急的な耐震補強工事に対する支援を行い、貴重な文化財建造物の保存・継承を図る。
(生涯学習・文化財室)

(3) 伝統文化を保存・継承する人材の育成・確保

- ・ **いきいき文化財博士ネットワーク事業** [88千円]
文化財ボランティアの活動の充実と後継者の育成を図り、身近な文化財に対する愛護意識を醸成する。
- ・ **わくわく古代チャレンジ2015事業** [2, 000千円]
地域の遺跡からの出土品を活用した体験学習会や考古学講座の開催などを通して、子どもたちのふるさとの歴史や文化を愛する心を醸成する。(生涯学習・文化財室)

VI 生涯をとおした学びの推進

基本施策の目標：

すべての世代の県民が、それぞれの目的、ニーズや社会の新たな課題に応じて、自由に学習の機会や場を選択して学ぶことができること。

1 多様な学習活動の支援

生涯学習講座の開催や、ICT（情報通信技術）を活用した在宅学習機会の充実など、ライフステージに応じて県民一人ひとりが多様な学習機会を享受できるよう支援する。

- ・ **県民カレッジ本部の運営** [28, 147千円]
カレッジ自遊塾、夏季講座等の開催
- ・ **県民カレッジ地区センターの運営** [38, 044千円]
- ・ **富山県映像センターの運営** [5, 314千円]
- ・ **公民館親子で高志の国探検事業** [P. 18に事業概要]
- ・ **ふるさと文学啓発事業** [P. 22に事業概要]
- ・ **青少年教育、女性教育、成人教育等の普及啓発を实践する社会教育団体の支援**
[34, 971千円] (生涯学習・文化財室)

2 県民の学習を支える基盤整備

県民にとって身近な学習機会に関する情報提供の充実や、学習成果を地域づくりなどに活用できる環境の整備を進める。

- ・ **とやま学遊ネットの運用** [6, 459千円]
生涯学習情報のリアルタイムの提供、双方向化等内容を充実する。
とやま公民館学遊ネットによる、公民館からの地域情報発信を支援する。
- ・ **県立図書館のサービス向上と利用促進** [76, 059千円]
- ・ **ふるさと文学啓発事業** [P. 22に事業概要] (生涯学習・文化財室)

Ⅶ 元気を創造するスポーツの振興

基本施策の目標：

県民一人ひとりが、それぞれの体力や年齢、興味、目的に応じて、いつでも、どこでも、いつまでもスポーツに親しむことができるとともに、本県の選手が全国や世界の檜舞台で活躍していること。

1 県民がスポーツに親しむ環境づくり

全国スポーツ・レクリエーション祭（スポレクとやま2010）開催の成果を活かし、誰もが気軽にスポーツに親しむことができる環境づくりを推進するとともに、地域における指導者などスポーツを支える人材の養成や効果的な活用に努める。

(1) スポーツへの参加を促す機会づくりの推進

- ・ **富山マラソン2015の開催** [90,720千円]
11月1日（日）開催に係る経費（参加者1万2千人、フルマラソンと併設レース（5・3・2km、車イス10km）を開催、富山ならではの「おもてなし」として応援ブースの設置や歓迎フラッグの掲出等
- ・ **元気とやまスポーツライフサポート事業（生涯スポーツ）** [4,930千円]
対象年齢に応じた運動教室や体験教室を開催し、成人のスポーツ実施率向上により健康寿命の延伸を目指す。
- ・ **元気とやまスポレク推進事業** [1,980千円]
県内4地区で順次、スポレク種目等の交流大会を開催する。
- ・ **富山県スポーツフェスタの開催** [11,533千円]
子どもから高齢者まで、トップアスリートからスポーツ・レクリエーション愛好者までの幅広いスポーツ志向に対応した、県主催の県内最大規模の総合的なスポーツ大会である富山県スポーツフェスタを開催する。
- ・ **元気とやまウォークラリーの開催** [1,500千円]
子どもから高齢者まで、県民が一体となって、運動習慣の定着、体力の向上を図ることを目的とするウォーキング・イベントを県内2か所で開催する。
- ・ **全国的・国際的大会開催への支援** [1,500千円]

（知事政策局へ移管）

※枠で囲まれた事業等は、平成27年度から知事政策局へ移管したもの

(2) 総合型地域スポーツクラブの育成

- ・ **富山県広域スポーツセンターの運営** [4,647千円]
- ・ **クラブの連携促進のため、県総合型地域スポーツクラブ連絡協議会等を支援**
(知事政策局へ移管)

(3) スポーツを楽しむ環境づくり

- ・ **2020東京オリンピック・パラリンピック合宿誘致等準備推進事業** [4,700千円]
合宿候補地のリストアップ、PR用パンフレットの作成、情報収集等
- ・ **県営スポーツ施設の利用促進** [473,983千円]
- ・ **県営スポーツ施設の整備** [200,000千円]
- ・ **県立学校の体育館、グラウンド等の地域住民への開放** [5,228千円]
(知事政策局へ移管)

2 学校等における体育・スポーツの充実

たくましい心と体を持った子どもを育成するため、学校や家庭、地域が一体となった、児童生徒の運動の習慣化や体力向上の取組みを推進するとともに、中学・高校の運動部活動の活性化を図る。

(1) 望ましい生活・運動習慣の定着と体力向上の推進

- ・ **元気とやまスポーツライフサポート事業（学校教育）** [2,544千円] [P.12にも記載]
きときと君の巡回指導や体力向上チェックシートの作成・活用等により、児童生徒の体力・運動能力の向上を図る。
- ・ **体力づくりノート作成・配布(みんなでチャレンジ3015)事業** [2,555千円] [P.12にも掲載]
幼児期からの体力向上を図るプログラムに基づいた体力づくりノートを作成し、小学生に配布する。
- ・ **「朝から元気とやまっ子」食育・健康教育推進事業** [P.12に事業概要]
(保健体育課)

(2) 学校体育の充実や運動部活動の活性化

- ・ **武道指導者資質向上支援事業（国委託事業）** [1,358千円] [P.29にも記載]
各校で実施している武道の授業に地域の人材を派遣するとともに、教員の指導力の資質向上を図る。

※枠で囲まれた事業等は、平成27年度から知事政策局へ移管したもの

- ・ **新スポーツエキスパート活用推進事業** [15,877千円] [P. 12、29にも記載]
県立学校の運動部活動に地域の優れたスポーツ指導者をテクニカルエキスパート、トレーニングエキスパートとして派遣する。
また、市町村が行う中学校へのスポーツエキスパート派遣についても支援する。
- ・ **楽しい体育実践研究事業** [4,938千円] [P. 12、29にも記載]
小中学生のスポーツへの興味を高める授業の実践研究を実施し、アスリート育成の裾野を拡大する。
- ・ **「環日本海インターハイ親善交流大会」への選手団派遣** [3,037千円]
韓国江原道で開催予定の、富山県、中国遼寧省、韓国江原道、ロシア沿海地方の高校生のスポーツ交流大会に選手団を派遣する。 (保健体育課)

- | |
|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 中学・高校運動部スーパーコーチ派遣事業 [P. 27に事業概要]
(知事政策局へ移管) |
|--|

3 全国や世界の檜舞台で活躍できる選手の育成

ジュニア期から個人の特性や発育発達段階に応じて強化に取り組む一貫指導体制を推進するなど、全国や世界の檜舞台で活躍できるトップアスリートの育成を目指した強化施策の再構築や強化拠点の再整備を図るとともに、トップアスリートの活躍を県民総ぐるみで応援する環境づくりを推進する。

(1) ジュニア期から強化に取り組む一貫指導体制の推進

- | |
|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 未来のアスリート発掘事業 [5,000千円]
スポーツ能力に優れた児童を見出し、競技団体、学校、家庭等と連携を図りながら、将来のスポーツ界を担う人材の育成をサポートする。 ・ 元気とやまスポーツ道場 [18,000千円]
拠点スポーツ施設等を活用した練習会等に加えて、県内合宿や県外遠征の実施により、競技ごとに豊かな素質を持つ中・高校生の長期的な育成・強化活動の充実を図る。(18競技) ・ 中学・高校運動部スーパーコーチ派遣事業 [3,000千円] [P. 27にも掲載]
運動部活動顧問の指導力向上や部活動運営の支援、本県スポーツの競技力の向上と運動部活動の一層の充実を図るため、スーパーコーチ(全国大会で優勝等の実績がある指導経験豊かなスポーツ指導者)を派遣する。 ・ 世界で活躍できる選手を育成するための一貫指導体制の確立 ・ 中・高校生・成年の合同合宿や長期合宿遠征等の強化活動に対する支援
(知事政策局へ移管) |
|--|

※枠で囲まれた事業等は、平成27年度から知事政策局へ移管したもの

(2) 主力競技等の重点強化

- ・ **県民の関心の高いサッカー、野球や駅伝の強化** [15,000千円]
重点強化種目の3競技について、一貫指導体制に基づく効果的な強化策を実施する。
 - ・ **富山県スポーツ選手重点強化プロジェクトの推進** [6,367千円] [P.29にも記載]
県スポーツアドバイザーを委嘱し、本県スポーツ指導者の意識改革や、トップアスリートの育成・強化に的を絞った競技力向上対策を図る。
また、少年種別の重点強化モデル事業及び指導者の資質向上研修派遣事業を10競技で実施する。
 - ・ **富山県駅伝競走大会の開催支援** [3,000千円]
- (知事政策局へ移管)

(3) 総合的な強化活動の推進

- ・ **スーパートレーナー設置事業** [5,200千円]
オリンピック等で日本代表選手をサポートした経験のある専門知識を有したトレーナーの県代表選手への支援により競技力向上を図る。
- ・ **元気とやまスポーツ振興会議の開催** [1,120千円]
2020年東京オリンピック・パラリンピックを見据え、競技力向上や県民のスポーツ振興策等について検討するため、元気とやまスポーツ振興会議を開催する。
- ・ **TOYAMAアスリートマルチサポート事業** [8,999千円]
スポーツ医・科学に基づく一貫した体力トレーニング体制を構築し、将来オリンピックや世界で活躍できる選手を育成する。
- ・ **トップアスリート育成・強化事業** [559千円] [P.29にも記載]
国立スポーツ科学センター（JISS）やナショナルトレーニングセンター（NTC）との連携による、選手強化・指導者の資質向上を図る。
- ・ **国内トップレベルの指導者やスポーツ医・科学の専門家の招へい** [P.29にも掲載]
- ・ **専門医によるメディカルチェックやスポーツ・クリニックの実施**
- ・ **競技団体の高額特殊備品購入の支援** [4,000千円]
- ・ **競技団体ごとの強化拠点の整備**
- ・ **合宿・遠征に対する支援**
- ・ **企業・地域クラブチームへの支援** [計144,375千円]
- ・ **国民体育大会への本県選手の派遣** [53,597千円] (知事政策局へ移管)

※枠で囲まれた事業等は、平成27年度から知事政策局へ移管したもの

(4) トップアスリートを支援する体制づくりの推進

- ・ **富山県民スポーツ応援団トップアスリート支援事業** [10,000千円]
元気とやまスポーツ応援基金を活用し、オリンピック等で活躍が期待できる本県選手や指導者の活動を支援する。
(知事政策局へ移管)

4 スポーツを支える人材の養成と活用

地域のスポーツ活動を一層推進するため、質の高いスポーツ指導者の育成や国際大会等で活躍したトップアスリートの活用に努める。

また、スポーツ指導者ととともに、県民の様々なスポーツ活動の企画や運営を支えるスポーツボランティアの必要性や意義等を啓発し、人材の確保と活用に努める。

(1) スポーツ指導者やボランティアの確保と活用

- ・ 「パスネットとやま」による指導者等の情報提供 (知事政策局へ移管)

(2) スポーツ指導者の意識改革や資質向上

- ・ **富山県スポーツ選手重点強化プロジェクトの推進** [P. 28に事業概要]
- ・ **トップアスリート育成・強化事業** [P. 28に事業概要]
- ・ **国内トップレベルの指導者やスポーツ医・科学の専門家の招へい** [P. 28にも掲載]
(知事政策局へ移管)

(3) 地域のスポーツ指導者の活用とスポーツ団体の育成・支援

- ・ **武道指導者資質向上支援事業（国委託事業）** [1,358千円] [P. 26に事業概要]
- ・ **新スポーツエキスパート活用推進事業** [P. 27に事業概要]
- ・ **楽しい体育実践研究事業** [P. 27に事業概要]
- ・ **派遣スポーツ主事の全市町村への配置**
市町村の生涯スポーツ振興を支援する。
- ・ **中学校体育連盟や高等学校体育連盟への活動支援** [41,843千円] (保健体育課)

- ・ **県スポーツ推進委員研修会や各種研修会の開催** [1,200千円]
- ・ **中高年安全登山指導者講習会の開催** [300千円]
富山県山岳連盟等と連携し、安全登山を指導できるリーダーを養成する。
(知事政策局へ移管)

※枠で囲まれた事業等は、平成27年度から知事政策局へ移管したもの

- ・ **富山県体育協会の活動支援** [81,317千円]
- ・ **富山県生涯スポーツ協議会や加盟団体の活動支援** [9,939千円]
(知事政策局へ移管)

(4) スポーツ顕彰制度の充実

- ・ **「元気とやまスポーツ大賞」等の授与** [688千円]
スポーツの普及・振興に尽力した個人・団体、スポーツ活動で優れた成果を収めた個人・団体を表彰する。
(知事政策局へ移管)

※枠で囲まれた事業等は、平成27年度から知事政策局へ移管したもの

第2節 教育行政一般

1 富山県教育委員会

(1) 教育委員（平成27年10月24日現在）

※平成27年4月1日より新教育委員会制度へ移行した。

教育長職務代理者 山崎 弘 一 委 員 種 部 恭 子
 委 員 大 谷 弓 子 委 員 米 田 猛
 委 員 町 野 利 道

(2) 議決事項〈平成27年〉

*は非公開

番号	年月日	標 題	主務課(室)	備考
1	H27. 2. 16	公立学校教員の採用の選考資格に関する規定の一部改正について（富山県公立学校教員採用選考検査の変更に伴うもの）	教職員課	
2	H27. 2. 16	平成27年富山県議会定例会に付議する事案に対する意見に関する件	教育企画課	*
3	H27. 2. 16	異議申立てに係る決定に関する件	教育企画課	*
4	H27. 3. 6	富山県教育委員会委員の辞職に関する件	教育企画課	*
5	H27. 3. 6	富山県教育委員会委員の辞職に関する件	教育企画課	*
6	H27. 3. 11	平成27年度富山県教育委員会重点施策に関する件	教育企画課	
7	H27. 3. 11	教育職員の人事異動に関する件	教職員課	*
8	H27. 3. 23	地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部を改正する法律の施行に伴う関係規則の整備に関する規則制定の件	教育企画課	
9	H27. 3. 23	富山県教育委員会陳情取扱要綱一部改正の件	教育企画課	
10	H27. 3. 23	富山県教育委員会公印管理規程一部改正の件	教育企画課	
11	H27. 3. 23	富山県教育委員会行政組織規則一部改正の件	教育企画課	
12	H27. 3. 23	富山県教育委員会事務決裁規程一部改正の件	教育企画課	

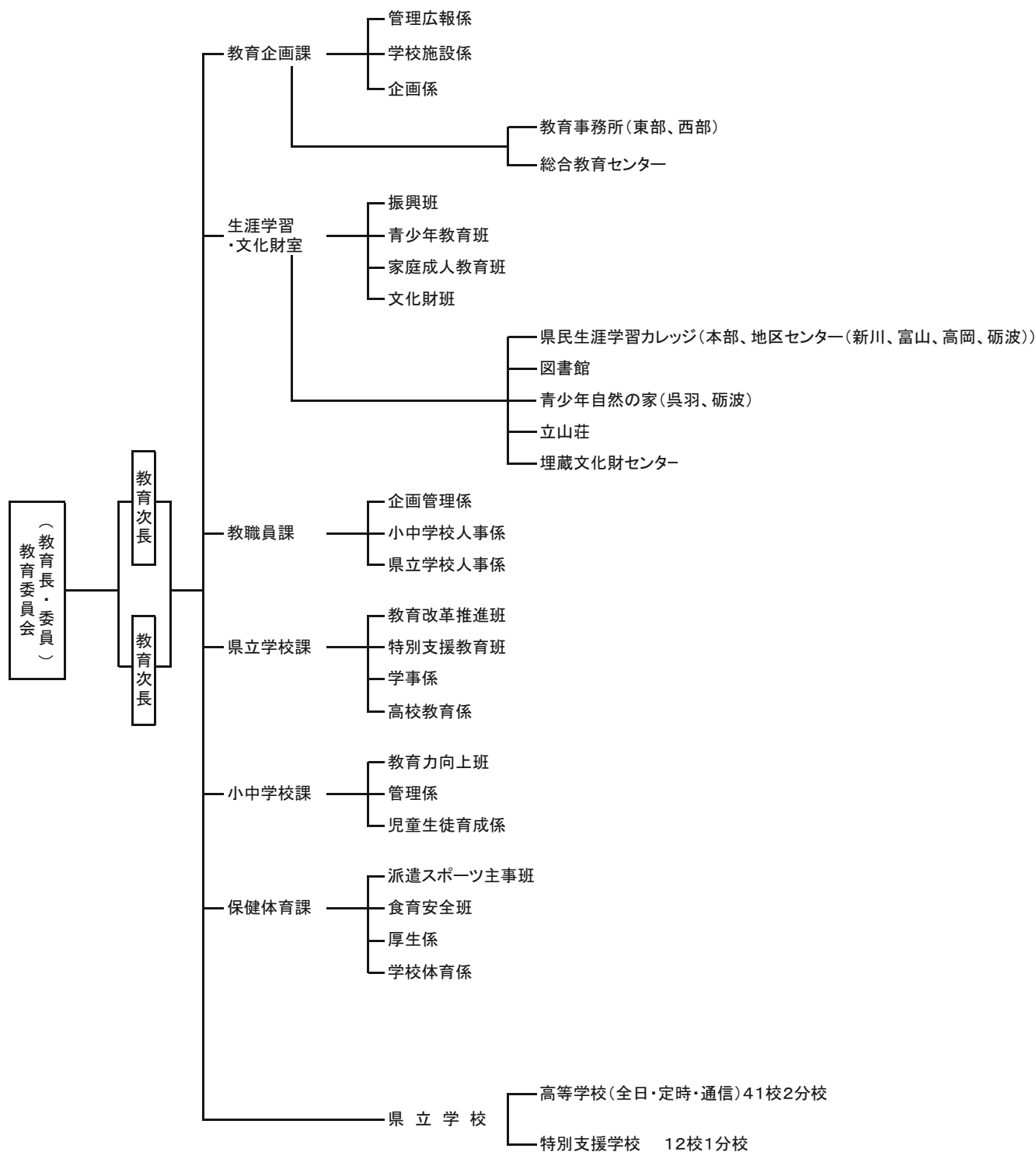
番号	年月日	標 題	主務課(室)	備考
13	H27. 3. 23	富山県教育委員会教職員安全衛生管理規程一部改正の件	小中学校課	
14	H27. 3. 23	富山県教育委員会事務局及び富山県立学校職員被服等貸与規程一部改正の件	小中学校課	
15	H27. 3. 23	富山県教育委員会公の施設に係る指定管理者の指定の手続等に関する規則一部改正の件	教育企画課	
16	H27. 3. 23	富山県教育委員会教職員等永年勤続表彰規則一部改正の件	教育企画課	
17	H27. 3. 23	富山県営体育施設条例施行規則廃止の件	スポーツ・保健課	
18	H27. 3. 23	富山県総合体育センター条例施行規則廃止の件	スポーツ・保健課	
19	H27. 3. 23	富山県立学校の学校医、学校歯科医及び学校薬剤師の公務災害補償に関する条例施行規則廃止の件	スポーツ・保健課	
20	H27. 3. 23	富山県立学校の学校医、学校歯科医及び学校薬剤師の公務災害補償に関する条例施行規則制定の件	スポーツ・保健課	
21	H27. 3. 23	富山県教育委員会文書管理規程一部改正の件	教育企画課	
22	H27. 3. 23	富山県立学校文書管理規程一部改正の件	教育企画課	
23	H27. 3. 23	富山県指定史跡の指定の解除の告示に関する件	生涯学習・文化財室	
24	H27. 3. 23	指定技能教育施設における連携科目等の変更に関する件	県立学校課	
25	H27. 3. 23	富山県教科用図書選定審議会規則一部改正の件	小中学校課	
26	H27. 3. 23	富山県教科用図書採択地区の設定について一部改正の件	小中学校課	
27	H27. 3. 23	富山県銃砲刀剣類登録審査委員の任命の件	生涯学習・文化財室	*
28	H27. 3. 23	事務局職員の人事に関する件	教育企画課	*
29	H27. 5. 18	富山県近代美術館運営委員会委員任命の件	生涯学習・文化財室	*
30	H27. 5. 18	富山県水墨美術館運営委員会委員任命の件	生涯学習・文化財室	*
31	H27. 6. 29	富山県立山博物館運営委員会委員任命の件	生涯学習・文	*

番号	年月日	標 題	主務課(室)	備考
			化財室	
32	H27. 7. 27	平成 28 年度富山県高等学校及び富山県立特別支援学校高等部・幼稚部の入学者選抜日程決定の件	県立学校課	*
33	H27. 7. 27	富山県いじめ防止対策推進委員会の補欠の委員の任命の件	小中学校課	*
34	H27. 9. 30	平成 27 年度教育功労者等表彰の件	教育企画課	*
35	H27. 9. 30	富山県教育委員会表彰（健康教育実践優良学校）の件	保健体育課	*
36	H27. 9. 30	富山県スポーツ推進審議会委員任命の件	保健体育課	*
37	H27. 10. 5	教育に関する事務の点検及び評価実施要綱の一部改正の件	教育企画課	
38	H27. 10. 5	平成 28 年度富山県立学校募集定員等決定の件	県立学校課	
39	H27. 10. 19	平成 28 年度富山県立高等学校入学者募集要項制定の件	県立学校課	
40	H27. 10. 19	平成 28 年度富山県立特別支援学校高等部・幼稚部入学者募集要項制定の件	県立学校課	
41	H27. 10. 19	平成 27 年度教育功労者等表彰変更の件	教育企画課	*
42	H27. 11. 9	平成 27 年度教育委員会の事務の点検及び評価結果報告書（平成 26 年度分）の件	教育企画課	
43	H27. 11. 9	平成 27 年度末教員異動方針に関する件	教職員課	
44	H27. 11. 9	富山県教育委員会表彰（学校給食優良学校等）の件	保健体育課	*
45	H27. 12. 21	富山県教育委員会行政手続等における情報通信の技術の利用に関する規則一部改正の件	教育企画課	

2 県教育委員会行政機構

(1) 組織機構図

(平成27年4月1日現在)



教育委員会事務局 所管事項

【本庁（6課）】

課名	班・係名	所管事項
教育企画課	管理広報係 学校施設係 企画係	事務局職員の人事、給与、予算、表彰、広報等 県立学校施設の整備及び管理、文教施設国補事業 教育問題研究、政策評価、調査統計
生涯学習・文化財室	振興班 青少年教育班 家庭成人教育班 文化財班	生涯学習の振興及び社会教育施設の整備・管理 青少年教育の推進、青少年団体の育成 成人・女性・家庭教育の推進、社会教育団体育成、 公民館の指導 文化財の保護、顕彰、文化財保護団体の育成
教職員課	企画管理係 小中学校人事係 県立学校人事係	学校事務職員の人事、教職員の給与、予算、研修 小中学校教育職員の人事、給与、服務 県立学校教育職員の人事、給与、服務
県立学校課	教育改革推進班 特別支援教育班 学事係 高校教育係	県立高校再編、学級編成 特別支援教育指導 授業料、育成奨学 高等学校教育指導
小中学校課	教育力向上班 管理係 児童生徒育成係	幼・小・中学校教育指導 幼稚園保育料、就学奨励 小・中・高等学校生徒指導
保健体育課	派遣スポーツ主事班 食育安全班 厚生係 学校体育係	市町村社会体育・スポーツの振興 学校の保健、安全、健康管理、学校給食の指導 教職員の福利厚生、共済組合 学校体育の指導

【出先機関及び教育機関】

機関名	所管事項・設置目的等
教育事務所（東部・西部）	小・中学校教員の人事、給与、研修、指導
県民生涯学習カレッジ （本部、新川・富山・高岡・砺波地区 センター）	生涯学習の振興、講座開設
総合教育センター	教育研究、教員研修
県立図書館	図書・記録・その他資料の収集整理保存、閲覧・貸出
青少年自然の家（呉羽・砺波）	青少年の集団宿泊訓練、野外活動の推進
立山荘	レクリエーションの振興を図る施設の提供
埋蔵文化財センター	埋蔵文化財の調査研究、収蔵及びその活用

【知事部局と共管（平成 18 年 4 月～）】

機関名	設置目的等
近代美術館	県民の美術に関する知識の普及及び教養の向上
水墨美術館	水墨画等の文化的所産の紹介による教養の向上
立山博物館	立山の自然、歴史等に関する資料の収集、保管、展示、調査研究

3 県教育事務所

県教育事務所は、県教育委員会事務局の出先機関として、東部、西部の 2 ヶ所に設置し、管内小・中学校職員の服務規程、各学校の教育指導、社会教育の指導等の業務を行っている。

その名称、位置、所管区域は次のとおりとなっている。

(平成 27 年 4 月 1 日現在)

名称	位置	所管区域
東部教育事務所	富山市	富山市、魚津市、黒部市、滑川市、朝日町、入善町、舟橋村、立山町、上市町
西部教育事務所	高岡市	高岡市、氷見市、射水市、砺波市、小矢部市、南砺市

4 市町村教育委員会

〈組織別教育委員会数〉

(平成 27 年 4 月 1 日現在)

区分	市	町	村	計
委員 5 人制	10	4	1	15
委員 3 人制	—	—	—	—
計	10	4	1	15

第3節 教育財政

<平成27年度当初予算の概況>

(1) 一般会計

平成27年度県予算総額は、5,606億1,636万円で、前年度と比較して33億4,988万円増加（0.6%増）している。

このうち、教育委員会所管予算額は、955億3710万円で、前年度と比較して4億3,126万円増加し（0.5%増）、県の一般会計予算全体に占める割合は、17.0%となっている。

ア 県予算との比較

（単位：千円）

区 分	平成26年度	平成27年度	増 減	構 成 比	対前年度比	備考
県 予 算	557,266,481	560,616,356	3,349,875	100.0%	100.6%	
教育委員会所管予算	95,105,835	95,537,096	431,261	17.0%	100.5%	

イ 「項」別内訳表

（単位：千円）

区 分	平成26年度	平成27年度	増 減	構 成 比	対前年度比	備考
教育総務費	2,779,572	2,676,916	△ 102,656	2.8%	96.3%	
小学校費	33,821,473	33,883,083	61,610	35.5%	100.2%	
中学校費	18,995,462	19,349,729	354,267	20.3%	101.9%	
高等学校費	26,813,235	27,813,882	1,000,647	29.1%	103.7%	
特別支援学校費	9,817,952	10,097,132	279,180	10.6%	102.8%	
社会教育費	1,202,210	1,143,565	△ 58,645	1.2%	95.1%	
保健体育費	1,675,931	572,789	△ 1,103,142	0.6%	34.2%	
合計	95,105,835	95,537,096	431,261	100.0%	100.5%	

(2) 特別会計

（単位：千円）

会 計 名	平成26年度	平成27年度	増 減	対前年度比	備考
奨学資金特別会計 （教育委員会所管分）	223,412	187,655	△ 35,757	84.0%	

第4節 表彰

1 叙勲

(1) 平成26年春の叙勲

〈教育功勞〉

瑞宝小綬章	坂卷	龍雄
瑞宝双綬章	大塚	保夫
瑞宝双光章	山岸	健一
瑞宝双光章	柚木	俊二

〈学校保健功勞〉

瑞宝双光章	梅崎	伸
-------	----	---

〈スポーツ振興功勞・教育功勞〉

瑞宝双光章	佐伯	亮治
-------	----	----

(2) 平成26年秋の叙勲

〈教育功勞〉

瑞宝小綬章	大崎	勇
瑞宝小綬章	吉川	實
瑞宝双光章	藺生	正一
瑞宝双光章	高木	義和

〈学校保健功勞〉

瑞宝双光章	皆川	一治
瑞宝双光章	松原	清一郎
瑞宝双光章	村田	敏夫

〈スポーツ振興功勞〉

旭日单光章	菅沼	義清
-------	----	----

〈文化財保護功勞〉

旭日单光章	西井	龍儀
-------	----	----

2 県教育委員会表彰

(1) 文化の日を機会とする表彰（平成26年11月4日県庁4階大ホール）

〈学校教育功勞者〉

寺山	善紀
寺西	外美
寺西	紀正
地崎	武治
西田	良正
米田	淳一
吉田	久夫
中田	正幸
西井	秀子

〈学校保健功勞者〉

伊井	祥
宗玄	俊一
宮島	久仁
吉田	耕司郎
米山	俊夫
鍛冶	征瑩

〈優良学校〉

富山市立中央小学校
富山県立志貴野高等学校
富山県立氷見高等学校

〈優良教育団体〉

富山県立南砺平高等学校
郷土芸能部

〈優良児童生徒〉

寺山	可純
荒木	優太郎
櫻井	麻那
林	靖人
樋口	霧花

〈優良教職員〉

長井	葉子
藤林	健治
橘	麻里

野原 修
盛 真由美
筒口 美幸
水島 智恵子
森 真里子
石坂 公邦
能登 一昌
米田 直子
鹿熊 康成
清水 博美
新田 稔
二塚 真澄
野村 由佳里
西中 美千子
金田 幸徳
松倉 輝代子
中村 謙作
永井 敏美
井川 忠司
井渕 信雄
水口 辰郎
山崎 幸子
佐伯 英子
米田 昌功
新保 晴江

〈社会教育功労者〉

岩川 剛
尾崎 汎

〈優良社会教育団体〉

ボーイスカウト上市第1団
一般社団法人ガールスカウト
富山県連盟第34団
桜谷小学校PTA
五箇山自然文化研究会

〈優良社会教育機関〉

上市町立柿沢公民館
富山市ファミリーパーク

〈芸術文化功労者〉

若森 征雄
中川 尚孝

〈体育・スポーツ功労者〉

永井 彰
大井 克彦
堀内 誠
網谷 昭一
室谷 勝彦
大塚 一朗

〈優良体育・スポーツ団体〉

加積ビーチボールクラブ
ブラックベアーズ
泊サンフラワーズ
滑川少年空手教室
射水市スポーツ少年団

〈優良体育・スポーツ活動推進者〉

中村 成実
中谷 湖雪
小千田 晴海
清水 里佳子
石橋 未稀
大江 光
紺野 孝太
近谷 涼
澤田 一矢
東海 茉莉花
富山県立南砺福光高等学校
ライフル射撃部（女子）
富山国際大学ボート部
野呂 瑞季・下尾 裕子組

(2) 富山県健康教育実践優良学校表彰（平成 26 年 11 月 4 日 県庁 3 階特別室）

ア 総合の部門（一いきいき富山っ子賞一）

- (ア) 優良校 立山町立釜ヶ淵小学校
(イ) 準優良校 氷見市立海峰小学校
(ウ) 努力校 入善町立黒東小学校 射水市立塚原小学校
砺波市立砺波東部小学校

イ 近視予防の部門

- (ア) 優良校 黒部市立荻生小学校
(イ) 準優良校 魚津市立西布施小学校
(ウ) 努力校 入善町立桃李小学校 氷見市立上庄小学校

ウ よい歯の部門

- (ア) 優良校 富山市立長岡小学校
(イ) 準優良校 砺波市立庄東小学校
(ウ) 努力校 黒部市立若栗小学校 富山市立水橋東部小学校

(3) 富山県学校給食関係表彰（平成 27 年 1 月 16 日 富山県庁 特別室）

- ア 学校給食優良学校等 富山市立大沢野小学校
南砺市立井波小学校
イ 学校給食功労者 太田 裕美子（上市中央小学校 栄養教諭）
竹澤 寿代（戸出西部小学校 調理員）
吉田 せつ子（井口小学校 調理員）

3 県表彰

(1) 県功労表彰（平成 26 年 11 月 4 日 県庁 4 階大ホール）

〈学校教育〉

舘 俊博 渡邊 宣昭

〈学校保健〉

杉井 衛

〈社会教育〉

上田 良子 県民カレッジ友の会「雷鳥会」

〈文化〉

永井 宗聖 じょうべのま遺跡保存会

〈スポーツ〉

坂田 勲 河村 博之 長峰 俊之 平田 典靖 橋本 博且
佐々木 翔 園田 啓悟 嘉村 健士 谷井 孝行

(2) 特別表彰 (平成 26 年 10 月 27 日 知事室)

登坂 絵莉

4 中央表彰

(1) 地方教育行政功労者表彰

(文部科学大臣表彰 平成 26 年 10 月 21 日 文部科学省講堂)

村井 和 (富山県教育委員会委員長)

橋本 昭雄 (氷見市教育委員会委員長)

(2) 教育者表彰 (文部科学大臣表彰 平成 26 年 11 月 28 日 文部科学省講堂)

高木 要志男 (富山市立堀川小学校長)

吉江 友秋 (高岡市立志貴野中学校長)

佐倉 正樹 (富山県立高岡高等学校長)

(3) 優秀教員表彰 (文部科学大臣表彰 平成 27 年 1 月 19 日 メルパルクホール)

大田 富士弥 富山市立中央小学校

田中 照美 砺波市立鷹栖小学校

亀ヶ谷 昭子 高岡市立下関小学校

森田 康寛 南砺市立井波中学校

岩城 淳視 富山市立上滝中学校

串岡 美智子 氷見市立北部中学校

高島 由順 富山県立富山高等学校

糸岡 栄幸 富山県立砺波高等学校

中村 達麻呂 富山県立高岡高等学校

彪 芳震 富山県立高岡聴覚総合支援学校

(4) 産業教育功労者表彰

(産業教育振興中央会表彰 平成 26 年 11 月 7 日 県庁 4 階大会議室)

森 政雄	富山県産業教育振興連絡協議会	前副会長
松井 裕敏	富山県立高岡工芸高等学校	校長 (工業)
藤岡 栄二	富山県立魚津工業高等学校	校長 (工業)
南 三樹雄	富山県立砺波工業高等学校	教頭 (工業)
舛崎 文雄	富山県立富山工業高等学校	教頭 (工業)
河波 昇	富山県立高岡工芸高等学校	教頭 (工業)

三箇 修成	富山県立氷見高等学校	教諭（水産）
末永 美知子	富山県立富山高等学校	教諭（家庭）
山崎 輝功治	富山県立高岡支援学校	教諭（工業）
水口 仁	富山県立富山聴覚総合支援学校	実習教諭（工業）
九俵 博夫	富山県立富山工業高等学校	実習教諭（工業）
長谷部 徹誠	富山県立上市高等学校	実習教諭（商業）

(5) スポーツ推進委員功労者表彰

（文部科学大臣表彰 平成 26 年 9 月 25 日 盛岡市アイスアリーナ）

倉田 一幸（黒部市）

麻生 幸雄（高岡市）

(6) 生涯スポーツ功労者及び生涯スポーツ優良団体表彰

（文部科学大臣表彰 平成 26 年 10 月 10 日 文部科学省講堂）

〈生涯スポーツ功労者〉

寺井 清（富山県キャンプ協会会長）

笹山 治一（富山県ダンススポーツ連盟会長）

〈生涯スポーツ優良団体〉

S. スターズソフトボールクラブ（黒部市）

富山県パークゴルフ協会連合会（射水市）

大久保少年サッカークラブ（富山市）

福岡 V I T A クラブ（高岡市）

(7) 体力づくり優秀組織表彰

（文部科学大臣表彰 平成 26 年 2 月 7 日 山口県 ホテルかめ福）

朝日町

(8) 学校保健及び学校安全に関する表彰

（文部科学大臣表彰 平成 26 年 11 月 6 日 石川県立音楽堂）

学校保健 大城 道雄〔学校医〕（魚津市）

矢野 博明〔学校医〕（射水市）

学校安全 立山町立日中上野小学校

学校安全ボランティア活動奨励賞 宇奈月小学校学校安全パトロール隊
成美校下守ろう隊

(9) 学校給食表彰

(文部科学大臣表彰 平成 26 年 11 月 20 日 山口市民会館)

学校給食優良学校等 富山市立呉羽小学校

学校給食功労者 平田 ふさ子 (南砺市立福野小学校 栄養教諭)

(10) 子どもの読書活動に関する表彰

(文部科学大臣表彰 平成 26 年 4 月 23 日 国立オリンピック記念青少年総合センター)

〈子どもの読書活動優秀実践図書館〉

滑川市立図書館

〈子どもの読書活動優秀実践団体〉

おはなしを楽しむ会

〈子どもの読書活動優秀実践校〉

魚津市立吉島小学校

射水市立中太閤山小学校

富山県立高岡支援学校

(11) 優れた「地域による学校支援活動」推進にかかる表彰

(文部科学大臣表彰 平成 26 年 12 月 8 日 文部科学省)

朝日町 あさひ野小学校放課後子ども教室

小矢部市 放課後出前教室

射水市 放課後子ども教室 放生津教室

(12) 地域文化功労者表彰

(文部科学大臣表彰 平成 26 年 11 月 6 日 文部科学省)

無形民俗文化財福野夜高保存会

(13) 社会教育

(文部科学大臣表彰 平成 26 年 12 月 5 日 文部科学省)

平内 幸典

中田 信子

(14) 優良 PTA

(文部科学大臣表彰 平成 26 年 11 月 19 日 ホテルニューオータニ)

魚津市立西部中学校 P T A

蟹谷中学校 P T A

(文部科学大臣表彰 平成 26 年 8 月 22 日 サンドーム福井)

富山県立桜井高等学校 P T A

(15) 優良公民館表彰

(文部科学大臣表彰 平成 27 年 3 月 4 日文部科学省)

高岡市立成美公民館

滑川市中加積地区公民館

(16) 優れた「早寝早起き朝ごはん」運動の推進にかかる表彰

(文部科学大臣表彰 平成 27 年 3 月 12 日 国立オリンピック記念青少年総合センター)

小矢部市立石動小学校

氷見市立十三中学校

(17) キャリア教育優良学校

(文部科学大臣表彰 平成 26 年 12 月 24 日 国立オリンピック記念青少年総合センター)

富山県立砺波工業高等学校

第5節 広報広聴活動

1 広報資料

平成26年度は、「教委だより」等による独自活動のほか、広報課との協力による広報活動、記者クラブを通じての情報提供等を行った。

県教育委員会の主な広報資料は下記のとおり。

- (1) 教委だより 県教育の現況、関係事業の案内及び報告等。隔月に発行。
小・中・高・特別支援学校の教職員及び教育関係機関に配布。
A4判、8p、1回11,000部
- (2) 教育要覧 県教育の事業実績、参考資料等。年1回発行。A4判、225p
※18年度から県ホームページで掲載（情報公開窓口、県立図書館は製本版を配置）
- (3) 富山県の教育 県教育の現況を、図表・グラフ等により紹介。10月発行。
市町村教委、県立学校、教育関係機関等に配布。
A4判、8p、中とじ、1,000部。
- (4) 福利とやま 福祉事業の紹介、結果報告等。年4回発行。
小・中・高・特別支援学校の教職員及び県教委事務局職員に配布。
A4判、平均12p、1回9,200部

2 県の広報媒体の利用

一般県民に対する広報活動は、県の広報媒体を利用して行っている。

- ・新聞広報「県からのお知らせ」（毎月2～3回土曜日朝刊）
- ・広報紙「県広報とやま」（各世帯配布。4、6、8、10、1月の年5回）
- ・タウン誌広報「タウン情報とやま」（年5回）
- ・フリーペーパー広報「02」「minto」「ふみたん」（年5回）
- ・テレビ放送「こんにちは富山県です」（北日本放送 毎週土曜 朝15分）
「月刊！元気とやま情報チャンネル」（富山テレビ放送 毎月最終土曜 夕方55分）
「とやまメモロナイト」（チューリップテレビ 毎週日曜 夜3分）
- ・ラジオ放送「元気とやま情報スクエア」（FMとやま 毎週月～金曜朝5分 ㊤夕方）
（※ 毎月最終金曜は、「知事の県政ざっくばらん」 10分）
- ・お知らせ（パブリシティ） テレビ・ラジオ各局、ケーブルテレビ各局、コミュニティFM各局

第6節 奨学事業

1 県の奨学事業

(1) 富山県奨学資金

貸与条例に基づき、有為な人材の育成を図るため、経済的理由のために修学困難で、かつ優れた者に無利子で奨学資金を貸与している。

また、21年度には家計の急変で奨学金を緊急に必要とする生徒のため、通常の奨学金よりも5千円増額貸与する「特別緊急採用による奨学金貸与制度」を創設した。

貸与金の返還方法は、卒業後6カ月の措置期間を含めて10年6カ月の期間内に年賦又は半年賦で返還する。

ア 貸与月額

(平成26年度)

学校種別	国公立区分	通学区分	1年(円)	2年(円)	3年(円)	4年(円)	5年(円)	6年(円)
			(H26入学)	(H25入学)	(H24入学)	(H23入学)	(H22入学)	(H21入学)
高等学校 特別支援学校高等部 中等教育学校後期課程 専修学校高等課程	国立	自宅	18,000(特別緊急採用)		23,000			
		自宅外	23,000(特別緊急採用)		28,000			
	私立	自宅	30,000(特別緊急採用)		35,000			
		自宅外	35,000(特別緊急採用)		40,000			
高等専門学校 (4年次より貸与月額増)	なし	なし	18,000			44,000		
大学 (短期大学を含む)	なし	自宅	45,000					
		自宅外	51,000					
専修学校専門課程	なし	なし	44,000					

イ 奨学生採用状況

(平成27年3月31日現在)

区分		年度						
		20	21	22	23	24	25	26
大学	志願者数	94	101	78	80	59	45	51
	採用者数	63	57	54	52	31	27	28
高校 (高専を含む)	志願者数	96	153	124	117	112	101	102
	採用者数	91	140	115	112	109	98	97
専修学校	志願者数	14	19	23	21	24	10	9
	採用者数	8	10	11	15	16	7	6

ウ 学年別貸与人員

(平成 27 年 3 月 31 日現在)

区分	1	2	3	4	5	6	計
高 等 学 校	72	79	103	0	0	0	254
専修学校（高等課程）	1	0	2	0	0	0	3
高 等 専 門 学 校	2	3	1	3	1	0	10
大 学	20	22	28	45	1	3	119
専修学校（専門課程）	6	7	6	1	0	0	20

(2) 定時制通信制修学奨励金貸与事業

修学奨励金貸与条例に基づき、働きながら高校の定時制及び通信制に在学する者に対し、修学奨励金を貸与することによりその修学を促進し、もって教育の機会均等に資する。

なお、定時制又は通信制高校を卒業した場合は、返還債務は免除される。

ア 貸与月額

(平成 27 年 3 月 31 日現在)

区 分	貸与月額
定時制課程	1・2・3・4 年(次)生 公立 14,000 円
通信制課程	1・2・3・4 年次生 公立 14,000 円

イ 奨学生採用状況

(平成 27 年 3 月 31 日現在)

年度	22	23	24	25	26
申請者数	1 人	1 人	4 人	6 人	2 人
採用者数	1 人	1 人	4 人	6 人	2 人

ウ 学年別貸与人員

(平成 27 年 3 月 31 日現在)

区分	1	2	3	4
定時制課程	0 人	1 人	1 人	0 人
通信制課程	0 人	0 人	0 人	0 人

(3) その他（災害被災者への措置）

平成 23 年 3 月 11 日に発生した東日本大震災の被災幼児児童生徒に対して、就学支援措置を講じた。

- ・転校・転入学の受入れ（27.5.1 現在）

市町村立小学校 19 人、同中学校 18 人、県立高校 4 人

- ・就学支援事業

幼稚園保育料等の軽減、小・中学校における就学費用の援助、県立高校入学料の免除（26 年度 2 人）及び入学考査手数料の免除（27 年度入学者選抜 1 人）

